

概要

基盤キャリア教育科目は、学生の社会的・職業的自立に向け、必要な能力や態度を育成するための科目である。個人と社会とのかかわりや、働くことの意味を自ら考え、キャリアデザインを描くことができるように、外部講師のレクチャーやインタビューなど多様な体験を通じて、社会との接点を持ちながら学べる科目構成となっている。

達成目標

変化する社会の中で未来を切り拓く知力と行動力を持ち、社会的・職業的に自立して新しい時代に自分らしく活躍することを目指して、そのために必要な基盤となる姿勢と能力を身につける。職業や働き方への理解、自己理解を深めるため、必要な知識、技能の修得を始め様々な能力や態度を身につけ、自らのキャリアデザインを行うことができるようになる。

カリキュラムの方針

上記の目標達成のため、多様な科目が用意されている。各科目は、職業や働き方への理解や自己理解を深めていくため、大学の専任教員による座学だけでなく、グループワークやインタビュー、外部講師のレクチャーを通じて社会との接点を持ちながら学ぶことが重視されており、学生自身の行動や体験を通じたキャリアデザイン力の育成が図られる。

以上のカリキュラムによって、「自分がどんなキャリアデザインを描くのか、どんな大学生活を送ったらよいか、どんな職業選択をするか」を意識しながら学び、今後の学生生活を実り多きものとする学生を育成することを目指す。



<「人間と社会」講義



「キャリアデザイン」グループワーク>

概要

学部留学生と交換留学生を対象にした日本語および日本事情の科目である。

達成目標

大学での勉学・研究に必要となる学術的な日本語に関する運用能力の向上を目指すとともに、現代社会における様々なコミュニケーションの場に通用する高度な日本語を身につける。また、日本社会・日本文化に関する理解と教養を深める。

カリキュラムの方針

留学生日本語科目は、必修科目 3 科目と選択科目 6 科目から構成される。

必修科目「アカデミック・ジャパニーズ」、「日本語アカデミック・リーディングⅠ」、「日本語アカデミック・ライティング」は学部 1 年次対象科目である。「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の 4 技能の強化とともに、主に講義の理解や専門書の講読、レポート作成に必要な日本語の習得を目指す。

選択科目「日本語アカデミック・リーディングⅡ」、「日本語アカデミック・プレゼンテーション」、「科学技術のための専門日本語」、「人文社会系のための専門日本語」、「ビジネス日本語」、「日本事情」は、主に学部留学生と交換留学生を対象にした科目である。「日本語アカデミック・リーディングⅡ」、「日本語アカデミック・プレゼンテーション」、「科学技術のための専門日本語」、「人文社会系のための専門日本語」では、学術的な言語運用場面を想定し、主に 2 年次以上での専門教育に要求される日本語の水準を目指す。「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の 4 技能を複合的に結びつけた言語活動を取り上げ、総合的な日本語能力の育成を図る。選択科目「ビジネス日本語」では、日本企業等への就職に向けて必要となる日本語を取り上げ、現代社会に通用する高度な水準の日本語を目指す。選択科目「日本事情」では、日本の社会や文化、自然等を概観するとともに、日本人のコミュニケーションやものの考え方への理解を図る。



留学生の
授業風景